

シーズン最終 源流釣行 尺上天国

釣行日：2023年9月29日～10月1日

【報告者】伊藤道大

【メンバー】平江さん、黒須さん



今年の渓流シーズンも始まりましたが昨シーズン最後の活動報告をいたします。
半年近くも書けずに申し訳ありませんでした。

それではよろしく願いいたします。

2023年渓流シーズンも終了直前の9月28日夜半、奥只見発電所近くの駐車場に3台の車が集結。

シーズン最後の釣行のターゲットは奥只見の洗戸沢、渡船での行程ではなく白滝沢を遡行して尾根を伝っての入渓計画である。行程が釣行計画を見ても長い！はたして自分の体力が持つか心配だが今シーズン最後に大岩魚に出会いたい一心で（前回の実川釣行で完全に源流にはまってしまった男）エントリーさせていただきました。

今回の釣行メンバー、平江さん、黒須さん、と私の三名である、当初本宮リーダーを含む5名の予定であったが諸事情のより二名欠席とのことで急遽平江さんにリーダーをお願いしての釣行となった。

集合当初はあいにくの雨と言うよりは土砂降りでしたのでハイエース内での前夜祭となりました。空けて29日朝、幸い雨もやんで一安心、朝食もそこそこにいざ出陣！

7:30~9:00 白滝沢の入渓点まで約4キロ、アスファルト道をひたすら歩きます。



足が速い平江リーダー



最近焚火ジャンキーの称号を受けた黒須さん



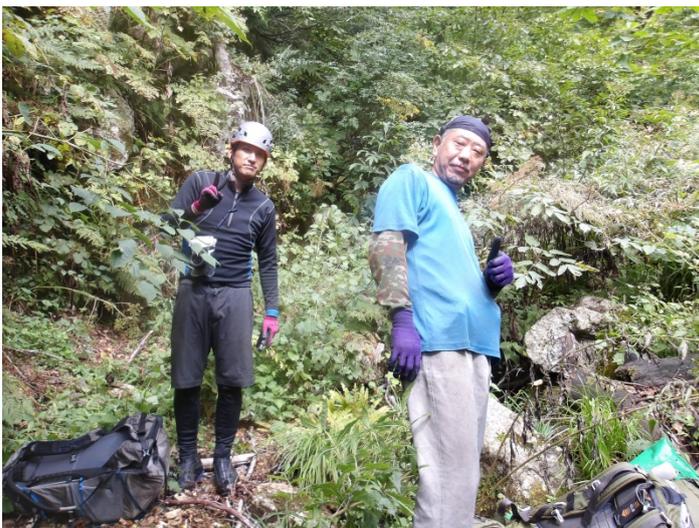
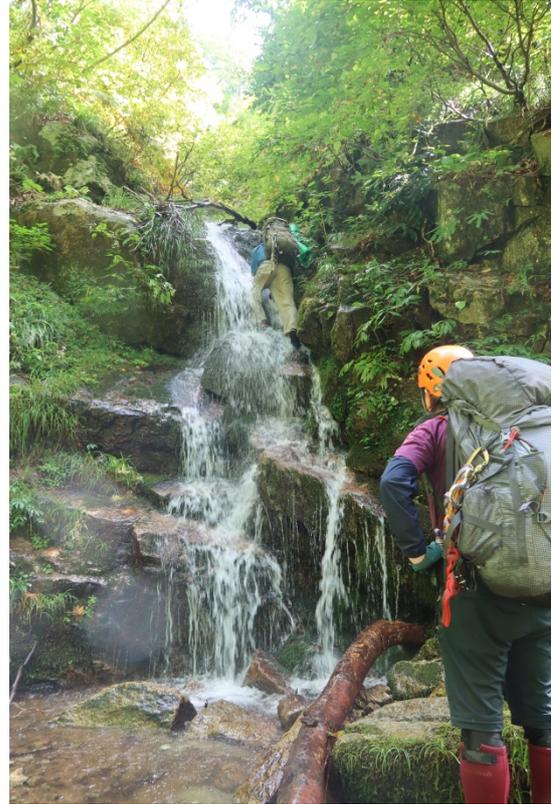
まだ元気な私

9:00~13:30

白滝沢はその名の通り溪は白泡が立つ流れでそれほど広くは無いが意外に行程が長くヘタレの私には結構きつくこの先が思いやられる。

平江さん、黒須さんは余裕の表情、さすが強者です。

三羽折の高手 1353 ピークに 12:00 着予定であったが随分タイムロスをしてしまった。



余裕の二人

白滝沢からはなれて 1353 尾根へ二人は元気いっぱい私はバテバテ、ふくらはぎの痙攣に苦しみながら何とか歩きます。

平江さん痙攣防止の漢方薬ありがとうございました。

平江さん「ここから尾根に乗って下ればテン場だから」の励ましに元気をもらう。

しかし・・・そのあとまさかの展開に・・・

13:30～16:30

尾根筋をなんとか藪漕ぎしながら突破し、途中出てきた枝沢から滝の沢下流部へ下りる作戦で下降を開始



16:30～20:00

ここから余裕で行けるはずが・・・どうやら滝の沢の連瀑帯上流部に出たらしく10m級の滝3本を懸垂でやり過ごすも、4つ目の滝が15m以上の滝で30mザイルで下まで届かず雨も降り始め遡行を断念、滝場脇の狭いくぼ地を黒須さんが見つけてくれてそこを今夜のテン場とする。整地も平江さん、黒須さんがしてくれて私は疲労困憊でお世話になるばかり。ほんとにお二人には頭が上がりません（涙）

テン場を整地して天幕張って着替えが済んだら、お決まりの乾杯です。

どんな場面でもこれがあるから源流はやめられません。平江さんいわく「俺も長年源流やってるけど滝の間でビバークするのは初めてだぁ～」と。（すいません私が大ブレーキでこんなに遅くなっちゃいました）と心の中でつぶやいてました（涙）



懸垂下降開始の平江さん



疲労困憊の私

その後、平江さんから、狭いテン場で傾斜してるし、ここで寝返り打つと下まで落ちそうだからセルフビレイ取った方が良いとの提案で各自、横に渡したロープにスリングで確保し就寝と相成りました。



平江さん特性砂肝炒め



テン場風景（空けて次の朝）

空けて翌日、昨夜は暗かったのでテン場周辺の状況が不明だったが改めて見ると相当やばいところに寝泊まりしていたのが判り苦笑い・・・

朝食を軽く済ませテン場を撤収。

下降ポイントを探るため、するするとお猿のごとく斜面を下る黒須さん。

この下、藪漕ぎで下降できそうとの事で安堵。ほんと現場で頼りになる青年です。ほどなくして、無事に滝の沢に入溪～良かった～



とりあえず万歳！

8:00～8:45

滝の沢よりあとは洗戸沢出会いまで一気に下る。

途中、遡上ものか 50センチ程もある岩魚が下ってくるわれらに慌てて右往左往する姿に期待が高まる。

出会いまでは大変な泳ぎやへつりもあまりなく洗戸沢出会いのテン場予定地へ到着。



いい笑顔！！

さっそく薪集めテン場設営とてきぱきこなし、久しぶりに地に足のついた所で早いお昼ごはん！のびのび最高です。テン場の写真がなくてすみません（汗）



これが漢の薪運び！！



黒須さん特製源流ラーメン



カメラ目線ありがとうございます

昼食を終えて早速、洗戸の上流へ釣り開始。

切り込み隊長、黒須さんは餌釣り、平江さんと私はテンカラで釣りあがります。

さっそく黒須さんの竿が曲がる～～仕留めたのは40オーバーの立派な岩魚その後もみんな交互に尺上を連発、さすが洗戸沢苦勞してきたかいがありました！



大物が来そうな予感



やはり！きました



ここのたるみを狙うんだよ



狙いバッチリ！



苦勞したかいがあった！



口先が割れてます



爆釣ですが、なにか？

快調に釣りあがるも「少しお腹がすいたなあ～刺身食べたいから黒須～制限時間3分で尺もの釣りあげて」と隊長平江さんから指令が・・・「マジっすか！！」と言いつつ指令通り釣って見せる黒須さん・・・すげーな。

腕がいいのか川がいいのかはご想像にお任せします（笑）



ちょっと待っててね



でへへ〜どうだあ〜



(師匠) あれ？頭は？？ (黒須) えっ？



(師匠) 頭取ったら下ろしにくいんだよ



鮮度抜群のお刺身になりました。

鮮度抜群のお刺身も食べて、そろそろテン場も恋しくなってきたので、納竿して一路テン場へ戻ることに相成りました。

しかし、楽しかったあ～～。



最後まで尺越え！！



丸々肥えたイワナ

テン場へもどりこれから楽しい夜会の始まり～～

平江さん特性ペンネアラビアータから始まり、切り干し大根の炒め煮、キクラゲと卵の炒め物、マーボー春雨、黒須さん特性いもフライと豪華なつまみ、酒も進み焚火も最高！言うこと無しの贅沢な夜の宴です。



そろそろ出来るよ～



ペンネアラビアータ



切り干し大根の炒め煮



キクラゲと卵の炒め物



マーボー春雨



雲隠れの術

カメラの不調で宴の写真が少なくてスイマセン（汗）



夜も更けて酒も進み瞼も重くなり就寝。小雨も気になるがとりあえず爆睡
一夜明けて雨が降ったりやんだりの朝、今日は帰還の日、平江さんお手製の朝食とお昼の
特大おにぎりをいただき、帰還の準備。



ウインナーとピーマン炒め

カレーどんぶりと味噌汁 うまい！！

来た時よりも美しく！！テン場をきれいにして身支度を整えテン場を後にする。
帰りは滝の沢の悪場をさけて尾根筋に取りつく予定だったが、滝の沢出会いから尾根筋を
登ると昔の仕事道跡がありメルがマタ沢上流部へ伸びている、そこが最適な帰還ルートと
リーダー判断で選択、一日目の滝場連瀑地帯も回避して尾根筋へ出ることができた。
そのあとは、来た道と同じルートをたどり無事に？帰還することができました。
下記に時系列で通過時間を書いておきます。

9:00～9:45

テン場から滝の沢出合い

9:45～13:30

滝の沢出合いから尾根

13:30～16:00

尾根筋から三羽折の高手

16:00～18:30

三羽折れの高手から白滝沢を下り入渓点

18:30～20:00

入渓点から駐車場

今回の釣行では平江さん、黒須さんには大変お世話になりありがとうございました。

次回はもう少し鍛えてから参加したいと思います（汗）

※源流宴会から帰還の写真があまりありませんで申し訳ありません。

カメラ不調と体力の限界にて撮影困難でありました。（汗笑）



帰還時の写真、奇跡的に一枚だけありました！キノコをとる黒須さん♪♪